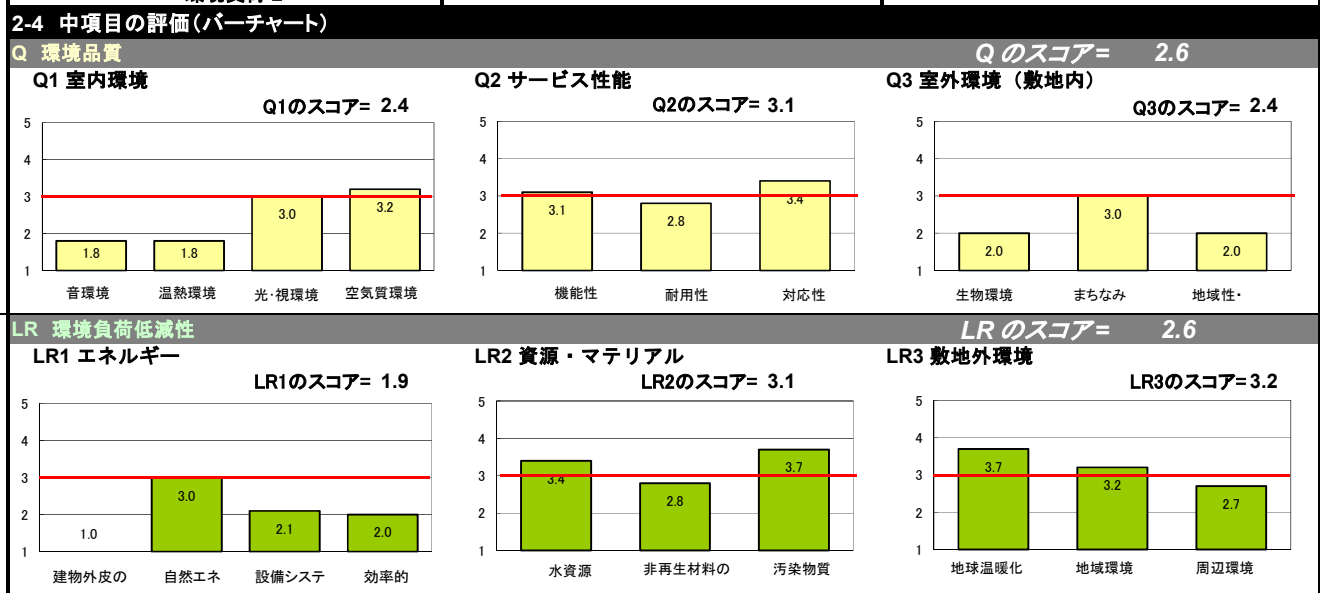
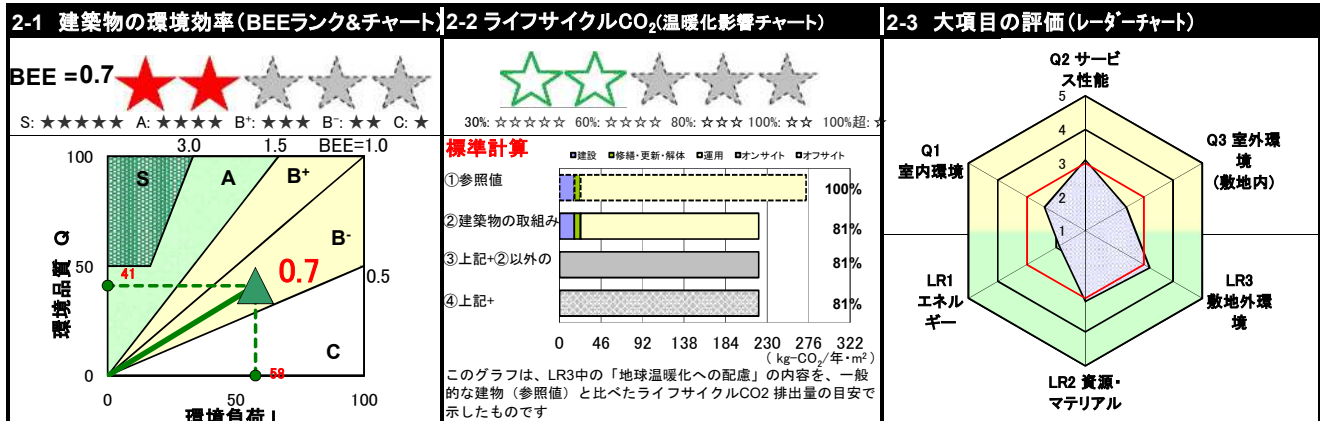


CASBEE®-建築(新築)

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2021年SDGs対応版_追補版 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2021SDGs(v2.3.5)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)杏林堂薬局 新大平台店 新	階数	地上2F
建設地	静岡県浜松市中央区富塚町 3777-	構造	S造
用途地域	第一種住居地域	平均居住人員	100 人
地域区分	6地域	年間使用時間	6,205 時間/年(想定値)
建物用途	物販店,	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2025年5月 予定	評価の実施日	2025年2月14日
敷地面積	5,410 m ²	作成者	株式会社飯田組一級建築士事
建築面積	2,053 m ²	確認日	2025年2月14日
延床面積	2,094 m ²	確認者	株式会社飯田組一級建築士事務所



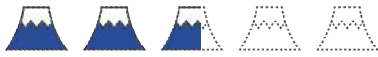
3 設計上の配慮事項		
総合		その他
・これはCASBEE静岡(2021年版)による評価結果です。		
Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境(敷地内)
・各室毎調整可能である。マルチヒートポンプ方式 ・仕上材等の建材は、F☆☆☆☆を使用している。 ・館内は禁煙である。	・売場の天井高=3.6mである。 ・階高は3.8mである。 ・省水型便器を採用している。	・景観条例に準じている。 ・風致地区制度に準じている。
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
・BPI=1.08、BEI=0.79である。	・省水型便器を採用している。 ・ガラスカーネルを採用し、発泡剤を用いた断熱材を使用していない。	・駐輪場・駐車場の数・導入路・配置等、配慮している。 ・屋外にゴミ置場として物置を設置している。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修・解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

1. 建物概要				
建物名称	(仮称)杏林堂薬局 新大平台店 新築工事	BEE	0.7	BEEランク B- ★★

2. 重点項目への取組み度				
重点項目	得点 [※] /満点	取組み度	評価	
"ふじのくに地球温暖化対策実行計画"の推進 (Global Warming)	3.1	/5		ふつつ 
"災害に強いしずおか"の形成 (Disaster)	2.6	/5		がんばろう 
"しずおかユニバーサルデザイン"の推進 (Universal Design)	2.9	/5		がんばろう 
"緑化及び自然景観"の保全・回復 (Nature)	2.7	/5		がんばろう 
※対応するCASBEEのスコア(平均)を5点満点で表示します。(スコア1.0=1点、スコア5.0=5点)		評価 凡例	よい 4 点以上 	ふつつ 3 点以上 
			がんばろう 3 点未満 	

3. 重点項目についての環境配慮概要		内訳対応項目	
各項目について配慮した内容を、該当する番号(①～)を示し記述してください。			
"ふじのくに地球温暖化対策実行計画"の推進(Global Warming)		得点	3.1
 ■室内環境対策 (①室温制御/②昼光対策/③グレア対策/④部品・部材の耐用年数) ①外壁・天井に断熱材を設置する。 ②③昼光利用は物販店舗のため対象外である。 ■室外環境(敷地内)対策 (⑤生物環境の保全と創出/⑥敷地内温熱環境の向上) ⑥緑地面積は1,627.19㎡確保し、敷地面積の30%以上である。 ■エネルギー対策 (⑦建物外皮の熱負荷抑制/⑧自然エネルギー利用/⑨設備システムの高効率化/⑩効率の運用) ⑦BPI=1.08、BEI=0.79である。 ■資源・マテリアル対策 (⑪水資源保護/⑫再生性資源の使用量削減/⑬汚染物質含有材料の使用回避) ⑪省水型便器を採用している。 ⑬発泡剤を用いた断熱材を使用していない。 ■敷地外環境対策 (⑭地球温暖化への配慮/⑮温熱環境悪化の改善) ⑭ライフサイクルCO2排出率は81%である。	Q-1 2 2.1 2.2 ① Q-1 3 3.1 3.1.3 ② 3.2 3.2.1 ③ Q-2 2 2.2 2.2.1 ④ 2.2.2 ④ 2.2.3 ④ 2.2.4 ④ 2.2.5 ④ 2.2.6 ④	① 外皮性能 ② 昼光利用設備 ③ 昼光制御 ④ 躯体材料の耐用年数 ⑤ 外壁仕上げ材の補修必要間隔 ⑥ 主要内装仕上げ材の更新必要間隔 ⑦ 空調換気ダクトの更新必要間隔 ⑧ 空調・給排水配管の更新必要間隔 ⑨ 主要設備機器の更新必要間隔 ⑩ 生物環境の保全と創出 ⑪ 敷地内温熱環境の向上	
	LR-1 1 ⑦ 2 ⑧ 3 ⑨ 4 4.1 ⑩ 4.2 ⑪	⑦ 建物外皮の熱負荷抑制 ⑧ 自然エネルギー利用 ⑨ 設備システムの高効率化 ⑩ モニタリング ⑪ 運用管理体制	
	LR-2 1 1.1 ⑪ 1.2 1.2.1 ⑫ 1.2.2 ⑬ 2 2.1 ⑭ 2.2 ⑮ 2.3 ⑯ 2.4 ⑰ 2.5 ⑱ 2.6 ⑲ 3 3.1 ⑳ 3.2 3.2.1 ㉑ 3.2.2 ㉒ 3.2.3 ㉓	⑪ 節水 ⑫ 雨水利用システム導入の有無 ⑬ 雑排水等利用システム導入の有無 ⑭ 材料使用量の削減 ⑮ 既存建築躯体等の継続使用 ⑯ 躯体材料におけるリサイクル材の使用 ⑰ 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用 ⑱ 持続可能な森林から産出された木材 ⑲ 部材の再利用可能性向上への取組み ⑳ 有害物質を含まない材料の使用 ㉑ 消火剤 ㉒ 断熱材 ㉓ 冷媒	
	LR-3 1 ⑭ 2 2.2 ⑮	⑭ 地球温暖化への配慮 ⑮ 温熱環境悪化の改善	
	"災害に強いしずおか"の形成(Disaster)		得点
 ■サービス性能対策 (⑯耐震・免震/⑰信頼性) ⑯地域係数Z=1.2、用途係数I=1.0にて構造計算している。	Q-2 2 2.1 2.1.1 ⑯ 2.1.2 ⑰ 2.4 ⑱ 2.4.1 ⑲ 2.4.2 ⑲ 2.4.3 ⑲ 2.4.4 ⑲ 2.4.5 ⑲	⑯ 耐震性 ⑰ 免震・制振性能 ⑱ 空調・換気設備 ⑲ 給排水・衛生設備 ⑲ 電気設備 ⑲ 機械・配管支持方法 ⑲ 通信・情報設備	
	"しずおかユニバーサルデザイン"の推進(Universal Design)		得点
 ■サービス性能対策 (⑯機能性・使いやすさ/⑰心理性・快適性/⑱空間のゆとり) ⑱階高は3.8mである。ラーメン構造を採用し、壁長さ比率=0.096である。 ■室外環境(敷地内)対策 (⑲地域性・アメニティへの配慮) 特になし	Q-2 1 1.1 1.1.3 ⑯ 3 3.1 3.1.1 ⑰ 3.1.2 ⑱	⑯ ユニバーサルデザイン計画 ⑰ 階高のゆとり ⑱ 空間の形状・自由さ	
	Q-3 3 3.1 ⑲	⑲ 地域性への配慮、快適性の向上	
"緑化及び自然景観"の保全・回復(Nature)		得点	2.7
 ■室外環境(敷地内)対策 (⑲生物環境の保全と創出/⑳まちなみ・景観への配慮/㉑敷地内温熱環境の向上) ㉑景観条例に準じている。 ■敷地外環境対策 (㉒持続可能な森林から産出された木材/㉓温熱環境悪化の改善) 特になし	Q-3 1 ⑲ 2 ㉑ 3 3.2 ⑲	⑲ 生物環境の保全と創出 ㉑ まちなみ・景観への配慮 ⑲ 敷地内温熱環境の向上	
	LR-2 2 2.5 ⑲ LR-3 2 2.2 ⑲	⑲ 持続可能な森林から産出された木材 ㉓ 温熱環境悪化の改善	